

第107期中間 株主通信

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日

証券コード：4536



すべては目の健康のために

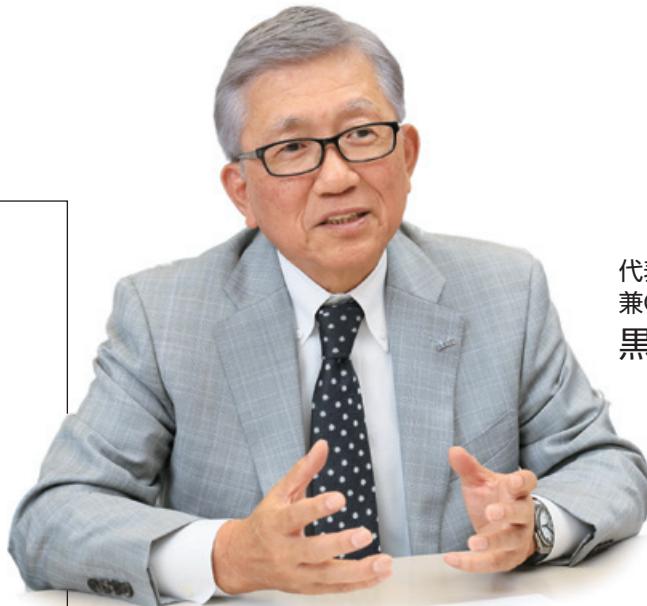
<基本理念>

天機に参与する

肝心な事は何かを深く考え、どうするかを明確に決め、迅速に実行する。

<基本使命>

「目」をはじめとする特定の専門分野に努力を傾注し、これによって参天ならではの知恵と組織的能力を培い、患者さんと患者さんを愛する人々たちを中心として、社会への寄与を行う。



代表取締役会長
兼CEO
黒川 明

引き続きアジアを中心に海外世界の眼科治療への持続的貢献

2018年度第2四半期の業績

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

参天製薬グループでは、長期経営ビジョンである「世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー」の実現のため、市場を上回る成長、そして利益率と資本効率の維持・向上に積極的に取り組んでいます。

2018年度第2四半期におきましては、4月の薬価改定やそのほかの一時的な要因によって、グループの約3分の2を占める日本事業において売上収益、営業利益においてマイナスの影響がりましたが、アジアを中心とする海外事業が引き続き大きく

Our Strengths

参天製薬の強み

徹底した
顧客志向

眼科領域に
特化した
専門性・技術力

地域ごとのニーズに対応した
営業・マーケティング活動

高い技術力や専門性と外部機関との
提携を活用した製品創製

幅広い眼疾患領域を
カバーする製品群

く成長し、グループの業績をリードした結果、売上収益は1,143億4千4百万円となり、前年同期比で3.2%の増収、コアベースの営業利益は前年と比べてほぼ横ばいの241億3千5百万円(△1.0%)となりました。アジアにおける成長は目ざましく、売上収益では前年と比べて約30%の伸びを示しています。

参天製薬グループでは、世界の患者さんと医療関係者のニーズに応え、持続的に世界の眼科治療に貢献していくため、研究開発活動を積極的に進めています。

2011年10月から緑内障・高眼圧症を対象として研究開発を進めてきたEP2受容体作動薬DE-117が、この9月に日本での製造販売が承認されました(エ

イベリス点眼液0.002%)。このエイベリス点眼液は、緑内障・高眼圧症治療剤としては既存の治療剤とは異なる世界で初めての作用機序を持ち、緑内障の患者さんに新しい選択肢を提供する、という点において大きな意義を持つものです。

また、7月にはDE-076C(ベカシア)が春季カタルの症状を改善する点眼液として、欧州での製造販売承認を取得しました。春季カタルは、治療の難しい重症のアレルギー性結膜疾患ですが、主に小児に発症し、患者さんが少ないため、これまで欧州ではこの疾患に対する治療薬の開発がなされていませんでした。眼科領域に特化し、真の顧客ニーズを深く考えてきた参天製薬グループならではの成果であると考えています。

事業が大きく成長し、増収。
献のため、研究開発を推進。

配当方針

参天製薬グループでは、株主様への利益還元を経営上の重要課題と位置付け、今後も、安定的・持続的な配当を実施していく考えです。2018年度においては、中間配当13円、期末配当13円を予定しています。

これからも参天製薬グループは、基本理念に基づき、世界中の患者さんや眼科医から求められる製品・サービスを提供し、持続的な成長を目指してまいりますので、株主の皆さまには、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
兼COO
谷内 樹生



代表取締役会長兼CEO

黒川 明

代表取締役社長兼COO

谷内 樹生

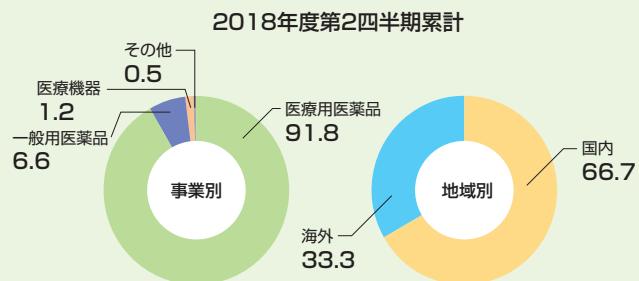
連結財務ハイライト

■ 第2四半期累計 ■ 通期

売上収益 (億円)



事業・地域別売上収益構成 (%)



コアベース営業利益 (億円) ※1



当期利益 (億円)

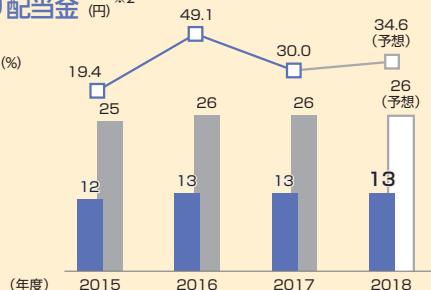


研究開発費 (億円)



1株当たり配当金 (円) ※2

配当性向 (%)



※1 IFRSフルベースから一部の収益・費用（製品に係る無形資産償却費、その他の収益、その他の費用、金融収益、金融費用）を控除した、コアベース（経常的な業績を示す）による数値です。
 ※2 2015年4月1日に普通株式1株につき5株の割合で株式分割しました。

医薬品の開発状況（臨床段階）

■ 緑内障領域 ■ 角結膜疾患領域 ■ 網膜・ぶどう膜炎疾患領域 ■ その他疾患領域 第107期（2018年度）中間決算発表時点

開発コード	一般名	効能・効果	地域	臨床試験*			申請	承認	発売
				フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3			
DE-117 (エイベリス)	オミデネパグ イソプロピル	緑内障・高眼圧症	米国	2018年9月					
			日本	2018年9月					
			アジア						
世界初の作用機序を持つ緑内障・高眼圧症治療剤です。日本で、2018年9月に製造販売承認を取得しました。米国では、2018年9月にフェーズ3試験を開始しました。									
DE-126	sepetaprost	緑内障・高眼圧症	米国	フェーズ2b					
			日本	フェーズ2b					
DE-128 (InnFocus MicroShunt)	-	緑内障	米国	フェーズ2/3					
			欧州						
DE-130A (カチオプロスト)	ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	欧州						
DE-076B (シクロカット)	シクロスポリン	ドライアイに伴う重度の角膜炎	米国						
			アジア						2017年12月
DE-076C (ベカシア)	シクロスポリン	春季カタル	欧州						2018年10月
カチオニック製剤技術により組織移行性を高めた乳化点眼剤です。イギリスで、2018年10月に発売しました。									
DE-089	ジクアホルナトリウム	ドライアイ	中国						2018年9月
			日本、アジア	「ジクアス点眼液」として販売しています。中国で、2018年9月に発売しました。					
DE-114A	エピナスチン塩酸塩	アレルギー性結膜炎	日本	2018年9月					
日本で販売している「アレジオン点眼液」の、高用量製剤です。日本で、2018年9月に製造販売承認を申請しました。									
DE-109	シロリムス	ぶどう膜炎	米国						
			日本						
			欧州						
			アジア	2015年4月					
DE-122	carotuximab	滲出型加齢黄斑変性	米国	フェーズ2a					
DE-127	アトロピン硫酸塩	近視	アジア						

* 臨床試験：フェーズ1からフェーズ3までの3段階で実施されます。フェーズ1では、少数の健康な志願者を対象に安全性を確認します。続くフェーズ2では、少数の患者さんを対象に適切な投与量や投与方法を検討・確認します。最後のフェーズ3では、多数の患者さんを対象に安全性・有効性を検証します。

🚩：第106期（2017年度）決算発表から進展のあったもの。

「世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー」を実現し 持続的成長につなげていきます。

- 真の顧客ニーズ[※]を深く考え
- 競合企業に対する明確な強みをもって
- グローバルな競争力・存在感を持つ会社

※ 真の顧客ニーズ：患者さん・生活者・
医師・医療従事者の未充足ニーズ

MTP 2020

売上成長率

6%以上
(年平均成長率)

コア営業利益率

21%以上
(期間平均)

フルROE

11%以上
(期間平均)

地域特性に合わせた事業展開で、市場を上回る成長を実現

日本

アジア

EMEA

米国

2017

海外売上比率 **30%**

2014-2017中期経営計画

アジア・欧州の成長と収益化
米国・その他への展開準備

2013

海外売上比率 **16%**

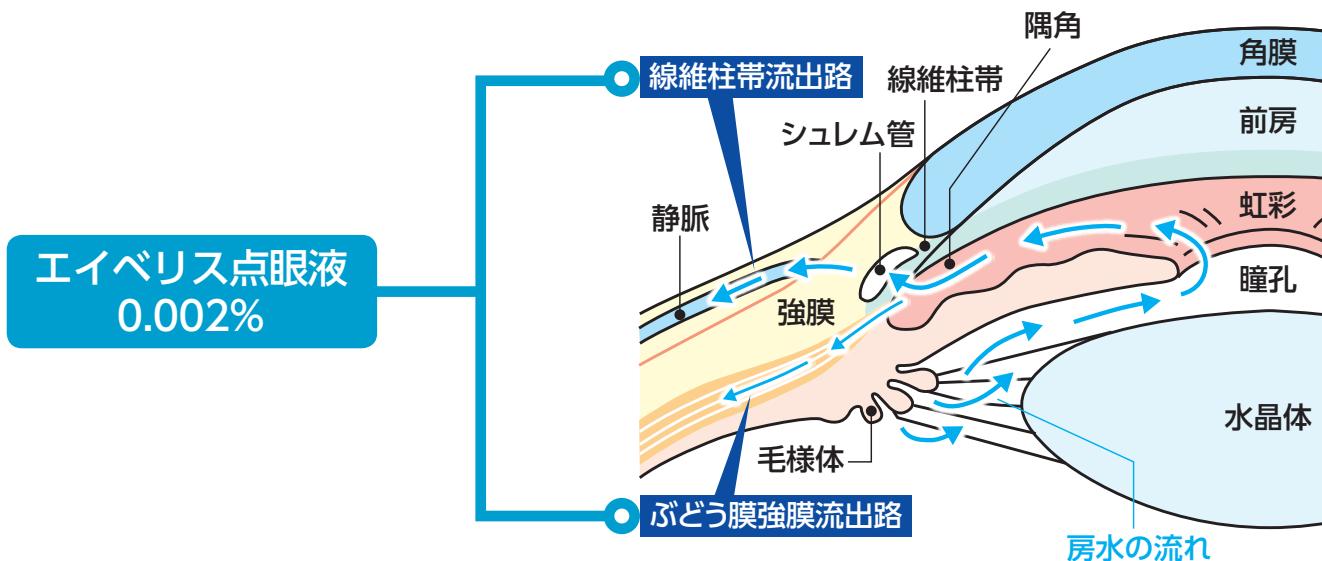
2011-2013中期経営計画

国内のさらなる基盤強化
アジア・欧州展開準備完了

緑内障・高眼圧症治療剤で世界初の作用機序を持つ 「エイベリス点眼液0.002%」の製造販売承認を取得

2018年9月、参天製薬が研究開発を進めてきた「エイベリス点眼液0.002%」が日本で承認されました。

「エイベリス」は、EP2受容体に選択的に作用する世界初の点眼液で、眼に2つある経路（下図ご参照）のどちらからも眼の中の水（房水）の流出を促します¹⁾。



1) Fuwa M, et al. : J Ocul Pharmacol Ther. 34 (7) : 531-537, 2018

参天製薬のホームページでは、緑内障をはじめとする目の病気に関する情報をご覧いただけます。
<http://www.santen.co.jp/ja/healthcare/eye/>



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

単元株式数 100株

公告方法

電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL : <http://www.santen.co.jp/jp/pn>

証券コード 4536

上場証券取引所 東京証券取引所

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL : 0120-094-777

会社概要 (2018年9月30日現在)

社名 参天製薬株式会社
本社 〒530-8552
大阪市北区大深町4番20号
創業 1890年
設立 1925年
資本金 8,186百万円
工場 能登、滋賀、他
研究所 奈良研究開発センター、他
従業員数 3,980名 (連結)

参天製薬株式会社



FSC®認証紙と植物油
インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

株式に関するお手続きについて

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ先

参天製薬株式会社

コーポレート・コミュニケーショングループ

〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号

TEL : 06-6321-7000 (代表)

06-4802-9360 (広報IR)

Email : ir@santen.com

URL : <http://www.santen.co.jp>



ホームページに
最新の情報を掲
載しております。
ぜひご覧ください。